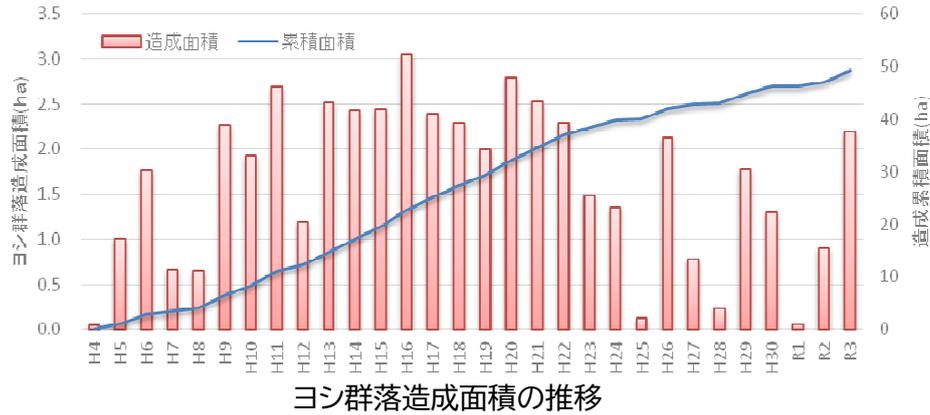


# 現在の取組について

## ① ヨシ群落造成事業



フナやモロコの産卵環境保全のためのヨシ帯造成(水産課)



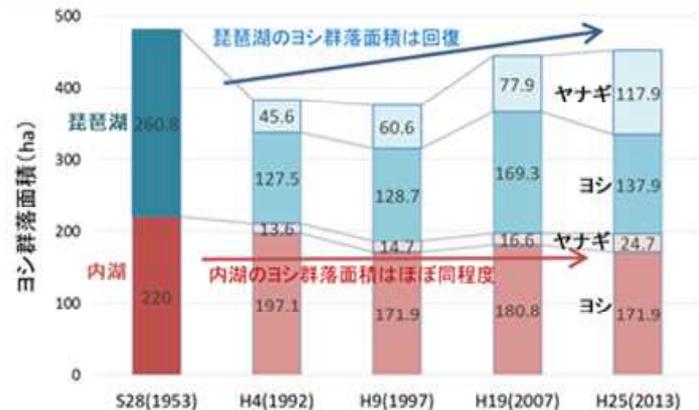
長浜市平方町地先の湖岸におけるヨシ群落造成工事(琵琶湖保全再生課)

1

## ②ヨシの生育に悪影響を与えるヤナギの伐採および有効利用の検討

### ○ 現状と課題

- 琵琶湖のヨシ群落面積は、昭和28年程度に回復
- ヨシ群落におけるヤナギの面積比率が増加  
⇒伐採が必要なヤナギ約3,400本に対して伐採ペースは限定的。(約50本/年)  
⇒伐採ペースを加速させるとともに、地域資源として有効利用する必要



### ○ 今年度の取組

- ヤナギ伐採の強化  
ヨシ等の生育に影響を及ぼすヤナギの伐採を強化(50本/年程度 → 100本程度)
- 伐採したヤナギの有効利用の検討  
ヤナギを「地域資源」として捉え、地域の経済循環の中に取り込むことを念頭に、県内で薪を取り扱う業者を中心に需要の有無や取扱い方をヒアリングし、有効利用を検討。



2

### ③地域資源としてのヨシ活用の取組

ヨシの新たな利用・活用を進める(基本計画第4)ため、令和4年度は水草等対策技術開発支援事業において、ヨシ製品の開発に取り組む下記の事業者を支援する。

#### ○ 株式会社エスウッド(岐阜県各務原市)

ヨシストランドボードの用途開発のため、ヨシの資源量把握と需要量を明確にし、効率的なボード製作手法を確立する。また、用途ごとのボードの物性評価を行う。



#### ○ 株式会社N&S(滋賀県東近江市)

ヨシやトウモロコシ、トウゴマの種子を原料とする植物由来樹脂100%の歯ブラシを試作する。歯科医師が歯ブラシの形状や毛先までこだわり、アンケート調査をもとに製品の開発をし、販路開拓を行う。 3

### ④ヨシ刈り活動によるCO<sub>2</sub>回収量の算定

#### ○ 経緯

ヨシ群落保全の効果を客観的な数値により「見える化」する必要  
→CO<sub>2</sub>回収量の簡易算定方法を開発

令和3年度に関西自然保護機構の会誌「地域自然史と保全」に論文掲載。

ヨシ刈りによるCO<sub>2</sub>回収量の算定ツール (ver.2020.10.20)

ヨシ刈りによるCO <sub>2</sub> 回収量 A	0.00 (ton-CO <sub>2</sub> )	出力値	※A(ヨシ刈りによるCO <sub>2</sub> 回収量) = B(刈取面積) × C(炭素量CO <sub>2</sub> 換算値)
刈取面積(m <sup>2</sup> ) B		入力値	ヨシ刈り活動を実施した面積を入力してください
ヨシ高さ(cm)		入力値	刈取ったヨシの平均的な高さ(長さ)を入力してください
		炭素量CO <sub>2</sub> 換算値 C	5.45 ton/ha (左記入力値の下表換取)

高さ(cm)	200 (190~209)	220 (210~229)	240 (230~249)	260 (250~269)	280 (270~289)	300 (290~309)	320 (310~329)	340 (330~349)	360 (350~369)	380 (370~389)	400 (390~409)	420 (410~429)	440 (430~449)
乾燥重量 (群落法推定) (g/m <sup>2</sup> )	330	390	450	520	580	660	730	810	900	980	1070	1160	1260
炭素量 (ton/ha)	1.49	1.76	2.03	2.34	2.61	2.97	3.29	3.65	4.05	4.41	4.82	5.22	5.67
炭素量 CO <sub>2</sub> 換算値 (ton-CO <sub>2</sub> /ha)	5.45	6.44	7.43	8.58	9.57	10.89	12.05	13.37	14.85	16.17	17.66	19.14	20.79

計算式 炭素量CO<sub>2</sub>換算値(ton-CO<sub>2</sub>) = ヨシ乾燥重量(g/m<sup>2</sup>) × 炭素含有率(0.45) × CO<sub>2</sub>換算係数(44/12)

※大気中からのCO<sub>2</sub>回収は、刈取ったヨシを長期的に利用することが前提です

#### ※ CO<sub>2</sub>回収量の算定ツールの改定

論文掲載時に算定に係る数値が見直されたため、令和4年度以降のヨシ刈り活動から改定後の算定ツールを用いることとする。

## ④ヨシ刈り活動によるCO<sub>2</sub>回収量の算定

令和2年度

活動団体	場所	ヨシ高さ cm	CO <sub>2</sub> 換算値 ton/ha	刈取面積 ha	CO <sub>2</sub> 回収量 ton-CO <sub>2</sub>
滋賀県	東近江市 大中町	297	10.89	0.61	6.64
	彦根市 新海町	159	5.45	0.21	1.14
	高島市 新旭町針江	268	8.58	0.66	5.66
びわこ高島の葦を守る会	高島市 新旭町針江	268	8.58	0.20	1.72
公益財団法人淡海環境保全財団	東近江市 大中町、乙女浜町	297	10.89	0.35	3.81
滋賀銀行	近江八幡市 安土町常楽寺	284	9.57	0.10	0.96
市民自然観察会・エコフオスター	近江八幡市 北之庄	284	9.57	0.32	3.06
アングラズイン合同会社	大津市 衣川	271	9.57	0.0272	0.26
	合計			2.48	23.25

令和3年度

活動団体	場所	ヨシ高さ cm	CO <sub>2</sub> 換算値 ton/ha	刈取面積 ha	CO <sub>2</sub> 回収量 ton-CO <sub>2</sub>
滋賀県	東近江市 大中町	237	7.43	0.43	3.19
	彦根市 新海町	203	5.45	0.13	0.71
	高島市 新旭町針江	305	8.58	0.52	4.46
長浜市立びわ中学校	長浜市 南浜町	283	9.57	0.05	0.48
びわこ高島の葦を守る会	高島市 新旭町大字針江	305	10.89	0.20	2.18
公益財団法人淡海環境保全財団	東近江市 大中町、乙女浜町	237	7.43	0.35	2.6
株式会社滋賀銀行	近江八幡市 安土町常楽寺	286	9.57	0.10	0.96
市民自然観察会・エコフオスター	近江八幡市 北ノ庄町	286	9.57	0.31	2.97
アングラズイン合同会社	大津市 衣川長1-41-14	283	9.57	0.0272	0.26
まるやまの自然と文化を守る会	近江八幡市 円山町地先	286	9.57	0.50	4.79
	合計			2.62	22.6

※ 刈取り後のヨシを松明など焼却以外に利用している活動のみを集計。

※ ヨシ高さについては、県発注業務の調査結果により、近傍地の高さまたは全体平均を使用。

5

## ④ヨシ刈り活動によるCO<sub>2</sub>回収量の算定

年間23t-CO<sub>2</sub>の回収とは、どれほどなのか？

自家用乗用車：27台分の年間CO<sub>2</sub>排出量(853kg/年・台)

(参考：温室効果ガスインベントリオフィス(2020年度)、一般財団法人自動車検査登録情報協会(2021年3月末))

家 庭：6世帯分の年間CO<sub>2</sub>排出量(3,900kg/年・世帯)

(出典：温室効果ガスインベントリオフィス(2020年度))

スギ人工林：2.6ha分の年間CO<sub>2</sub>吸収量(36~40年生 約8.8t/年・ha・1,000本)

(出典：林野庁HP)

本県の温室効果ガス総排出量：1,106万t-CO<sub>2</sub>

(県CO<sub>2</sub>ネットゼロ推進課)

温室効果ガス排出量削減目標＝

2030年度に2013年度比50%減(711万t-CO<sub>2</sub>)

(滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくり推進計画)

全体から見れば微々たる貢献。

でも、その積み重ねが目標の達成にとって重要。

6